

有識者の声



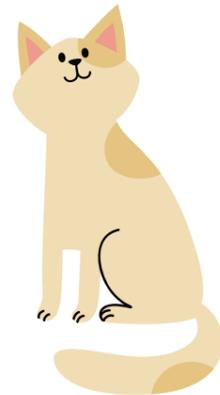
愛玩動物看護師の専門知識は、動物病院に限らず、  
現在さまざまな現場で活かされています。  
業界の垣根を越えて求められる理由とは？  
各分野の視点から、その価値を掘り下げます。

## 適正飼養のプロが 医療と社会をつなぐ新たな時代へ



博士(獣医学)  
**佐伯 潤氏**

帝京科学大学 アニマルサイエンス学科 教授  
獣医師



### 動物医療の変化と 国家資格の誕生

愛玩動物看護師が国家資格となった背景には、動物の社会的な位置づけの変化があります。犬や猫はもはや単なるペットではなく家族の一員となり、それに伴い動物医療の質向上が求められるようになりました。専門的な知識を持つ人材の育成が急務となり、その役割を明確にするために国家資格化が進められたのです。

以前は動物看護師の資格は民間のものしかなく、知識や技術の標準化が課題でした。しかし、国家資格となったことで統一された教育課程と試験制度が整備され、一定の水準を満たした人材が輩出されるようになりました。その結果、動物医療の現場で看護師の信頼性が向上し、飼い主も安心して動物を預けられる環境が整いました。

### 獣医療チームの中で 果たす役割

愛玩動物看護師は獣医師とは異なる視点から動物医療に貢献します。獣医師が診断や治療を行うのに対し、看護師はケアや飼い主の支援を通じて治療の効果を高める役割を果たします。診療補助や入院動物の管理だけでなく、適正な飼育や健康管理のアドバイスも重要な業務です。獣医療チームの一員として、動物と飼い主の双方を支える存在といえます。

さらに、国家資格化によって活動の場が広がり、ペット保険会社、動物関連企業、災害支援、高齢者施設でのアニマルセラピーなど、多様な分野での活躍が可能になりました。適正飼養の推進や公衆衛生の向上にも貢献する機会が増えています。

### 適正飼養分野で広がる 活躍の場と未来への展望

今後、愛玩動物看護師には病気の予防やリハビリテーション、行動管理などの知識を深め、より幅広い分野で活躍することが求められます。また、適正飼養の啓発や公衆衛生への取り組みを通じ、人と動物が共生できる社会づくりに貢献することも期待されています。

国家資格化により愛玩動物看護師の役割は明確になり、その専門性が広く認知されるようになりました。しかし、これは出発点に過ぎません。今後の発展には看護師自身の努力と、社会全体の理解と協力が不可欠です。動物医療の未来を支える存在として、さらなる成長と活躍が期待されます。



## 学びの場にも 寄り添い支える専門家

獣医師  
**村田 香織氏**

株式会社イン・クローバー代表



### 私たちの仕事 犬の学校

犬の幼稚園やしつけ教室、飼い主向けの講座を提供。問題行動の予防や適正飼養の普及を目的とし、動物病院とも連携。愛玩動物看護師は、しつけや健康管理のアドバイス、食事指導などを担当し、飼い主と動物がより良い関係を築けるようサポートしています。

### 病院の外で求められる サポートの役割

獣医師として臨床に携わる中で、「病院の外でできること」の重要性を強く感じてきました。しつけや社会化は、犬や猫が人と快適に暮らすために不可欠ですが、病院では十分な時間を取れず、飼い主が相談できる場も限られています。そこで、私は当施設を立ち上げ、病院では対応しきれない部分をサポートする場所を作りました。

愛玩動物看護師は、こうした「病院の外」

のサポートを担う存在です。日常のケアや適切な食事管理、シニア期のケアなど、診療とは異なる視点が必要な問題に寄り添い、適切なアドバイスを提供します。当施設では、看護師がトレーナーと協力してしつけ教室や栄養相談を担当し、飼い主と動物の生活の質を向上させています。

### 広がる看護師の役割と 未来への展望

また、終末期のケアやグリーフケアも看護師の大切な役割です。病院の診察室で

は時間が限られます。併設しているカフェでは、看護師がじっくり話を聞き、不安に寄り添うことができます。特に高齢のペットを飼う人にとって、こうした支えがあることで、安心して最期まで寄り添えます。

愛玩動物看護師の専門性は医療の枠を超え、幅広い場面で求められています。こうした専門性を活かせる施設が病院以外にも増えれば、ペット業界の発展につながると感じています。

### 私たちの仕事 動物病院

神奈川県にある動物病院で、戸塚本院と中田分院の2拠点で診療を提供。一般診療に加え、皮膚科・眼科・リハビリなど幅広いケアを実施。愛玩動物看護師は診療補助や入院管理のほか、飼い主向けの指導や病院運営にも関わり、獣医師と連携しながら動物と飼い主を支えています。

### 診療のサポートと 病院運営への貢献

動物病院における愛玩動物看護師の役割は多岐にわたります。診療補助だけでなく、飼い主との橋渡し役として治療方針やケア方法を伝え、不安を和らげることも重要な仕事です。例えば、長期入院する動物の様子を伝えることで、飼い主が安心して、病院への信頼にもつながります。

また、病院運営にも深く関わります。獣医師が診療に専念できるよう業務を調整し、円滑な診療体制を支えます。当病院では、スケジュール管理やスタッフ教育、飼い主

## 診療の裏側で 病院を動かす 縁の下の力持ち

愛玩動物看護師  
**三橋 有紗氏**

ぬのかわ犬猫病院



向けの教室運営なども看護師が担当。シニア教室やパピーケアクラスでは、病気予防やケアのポイントを伝え、飼い主と動物の関係をより良いものにするお手伝いをしています。こうした取り組みが、病院全体の信頼向上につながっています。

### 病院の外で求められる サポートの役割

看護師にとって最も大切なのは、飼い主に寄り添う姿勢です。ある飼い主さんが、認知症の愛犬の介護に悩み、涙ながらに相談されたことがありました。獣医師は治療を担当しますが、日々のケアや精神的な負担

には、看護師が寄り添う役割を果たします。こうした経験を重ねながら、私たちは成長を続けています。技術や知識を磨くだけでなく、動物と飼い主の両方にとって心強い存在となれるよう、日々の業務に向き合っています。

